

報道関係者各位

## 令和5年度 第13回科学の甲子園山形県大会の開催について

本県において科学好きな生徒に活躍の場を提供し、実技種目を伴う探究的・課題解決的な競技を通して、科学に対する意欲を高め、科学的な思考力や表現力を養うとともに、科学の甲子園全国大会の予選として、本大会を開催しますので、当日の取材についてよろしくお願いいたします。

### 記

- 1 日 時 令和5年10月29日（日）午前10時00分～午後1時20分
- 2 場 所 山形県教育センター  
(所在地：天童市大字山元字犬倉津 2515 電話：023-654-2155)
- 3 目 的 「科学の甲子園全国大会」は、全国の科学好きな生徒等が集い活躍できる場として、理科・数学・情報分野の競技を通し、科学好きの裾野を広げることと、トップ層を伸ばすことを目的として、科学技術振興機構（JST）が、平成23年度より実施しているものである。本県においても科学好きな生徒に活躍の場を提供し、実技種目を伴う探究的・課題解決的な競技を通して、科学に対する意欲を高め、科学的な思考力や表現力を養うとともに、科学の甲子園全国大会の予選として、本大会を開催する。
- 4 参加者 県内15校 計45名
- 5 注目ポイント 現在、酒田東高校（令和3年度にスーパーサイエンスハイスクールに指定）が**2連覇**中です。
- 4 その他
  - ・詳細は別紙開催要項のとおりです。
  - ・他都道府県の競技実施の公平性を確保するため、競技内容の詳細については明らかにできません。
  - ・取材のため会場へ入場する際は、受付で手続きをお願いします。



#### 【問い合わせ先】

教育局 高校教育課

課長補佐 黒木 晃

TEL 023-630-3106

報道監 教育局長 庄司 雅人

## 1 目的

「科学の甲子園全国大会」は、全国の科学好きな生徒等が集い活躍できる場として、理科・数学・情報分野の競技を通し、科学好きの裾野を広げることと、トップ層を伸ばすことを目的として、科学技術振興機構（JST）が、平成23年度より実施しているものである。本県においても科学好きな生徒に活躍の場を提供し、実技種目を伴う探究的・課題解決的な競技を通して、科学に対する意欲を高め、科学的な思考力や表現力を養うとともに、科学の甲子園全国大会の予選として、本大会を開催する。

## 2 開催体制

- 主催 山形県教育委員会  
 共催 山形県高等学校文化連盟科学専門部（予定）  
 山形県高等学校教育研究会数学部会・理科部会・情報部会（予定）  
 山形大学（予定）  
 山形県立産業技術短期大学校（予定）  
 後援 国立研究開発法人科学技術振興機構（予定）  
 山形県高等学校文化連盟（予定）

<b>山形県教育委員会</b>	
県教育センター・高校教育課	
全体庶務：	実行委員会開催業務 採点委員会関係業務 関係団体との連絡調整業務 JSTとの連絡報告窓口 県代表強化支援 全国大会関連業務

<b>科学の甲子園山形県大会実行委員会</b>			
委員会構成：	県教育センター	6名	全体庶務
(計17名)	高校教育課	1名	大会運営
	県高文連科学専門部	2名	大会運営
	県高教研理科部会	2名	採点委員会
	県高教研数学部会	2名	
	県高教研情報部会	2名	
	山形大学理学部等	1名	助言・県代表強化支援
	県立産業技術短期大学校	1名	

山形県高等学校 文化連盟
科学専門部
○大会運営： 事前準備 会場関係業務 大会当日運営主務

山形県高等学校 教育研究会		
理科部会	数学部会	情報部会
○採点委員選出 6領域より各2名ずつ（情報は1名） （物・化・生・地・数・情） 採点委員会：大会と別日程で開催		

山形大学理学部 産技短 等
大会に係る 各種助言 大会運営支援 代表強化

### 3 開催スケジュール

- (1) 令和5年7月4日(火) 科学の甲子園山形県大会実行委員会
- ① 実行委員会構成
- |             |                |
|-------------|----------------|
| 県教育センター     | 6名(副所長・担当指導主事) |
| 高校教育課       | 1名(担当指導主事)     |
| 県高文連科学専門部   | 2名(専門部長・事務局長)  |
| 県高教研理科部会    | 2名(部会長・事務局長)   |
| 県高教研数学部会    | 2名(部会長・事務局長)   |
| 県高教研情報部会    | 2名(部会長・事務局長)   |
| 山形大学理学部     | 1名             |
| 県立産業技術短期大学校 | 1名             |
- (※県教育センターが全体庶務を担当する。)
- ② 会場：貴所属等 (Zoomによるオンライン開催)
- (2) 令和5年10月21日(土)～28日(土) (案) 筆記競技
- ① 運営：各校の競技委員
- ② 会場：各参加校
- (3) 令和5年10月29日(日) (案) 科学の甲子園山形県大会
- ① 大会運営：県教育センター、県教育局高校教育課、県高文連科学専門部  
大会引率者、山形大学、県立産業技術短期大学校
- ② 大会会場：県教育センター、津山小学校、県立高等学校等
- ③ 当日日程
- |        |       |           |
|--------|-------|-----------|
| 8:50～  | 9:45  | 受付        |
| 9:00～  | 9:45  | 競技役員会議    |
| 10:00～ | 10:25 | 開会行事      |
| 10:40～ | 12:50 | 実技競技(総合系) |
| 13:00～ | 13:20 | 閉会行事      |
- ④ 大会運営の詳細：  
別途大会要項を定め、実行委員会の承認を経たのち県内高等学校に通知する。
- (4) 令和5年11月1日(水) 採点委員会  
高教研数学部会・理科部会・情報部会より選出された各領域(数・物・化・生・地・情)2名(情報は1名)×6領域=11名の採点委員及び高校教育課・県教育センター指導主事による採点業務をおこなう。採点委員の旅費については、別途配当替えする。
- (5) 令和5年11月 全国大会代表校決定及び表彰  
優勝チーム(代表チーム)には、所属校において表彰を行う。
- (6) 令和6年2月～3月上旬 代表チーム強化講習会  
科学の甲子園全国大会に向けての強化講習会を行う。

#### 4 出場チームの構成員

科学の甲子園全国大会開催要項に準じる。

- (1) 出場チームは、高校1、2学年の生徒（高等専門学校にあっては同年次の学生）により、1校単位で構成する。
- (2) 出場チームの構成員は6名以上8名以下とする。
- (3) 県大会の出場チームは、校内選考を経て、各学校において決定する。出場チーム数については、1校につき1チームまでとする。

#### 5 競技の種類（案）

大会競技は、筆記競技と実技競技からなる。

##### (1) 筆記競技

筆記競技は、理科4領域(物理・化学・生物・地学)、数学、情報の中から、知識を問う問題及び知識の活用について問う問題で競うものとする。教科・科目については、その枠を超えた複合的な問題も出題され得ることとする。

##### (2) 実技競技

実技競技は、総合系のみ行う。

(総合系とは、科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を用いて課題を解決する力を競うものである。)

#### 6 競技について（案）

- (1) 競技の形式については、原則として以下のとおりとするが、詳細は競技要領により定めるものとする。

##### ① 筆記競技

- ・ 各チーム6名による。競技は、6名が問題を分担したり相談したりしながら協働で解答し得点を競う。県大会実施日1～2週間程前に各校へ筆記競技問題をメールで事前送付し、各校にて実施する。

##### ② 実技競技（総合系）

- ・ 事前配付資料に基づき競技を実施する。
- ・ 各チーム3名による。競技は、3名が問題を分担・相談しながら協働で行い、得点を競う。

##### (2) 各競技へのエントリー

- ・ 大会参加が認められたチームは、大会事務局が指定する期日までに、各競技に参加する生徒について大会事務局にエントリーシートを提出すること。
- ・ 出場チームの生徒は、それぞれ1競技以上にエントリーすること。同一人が複数の競技に出場することは可能である。各競技に参加する生徒について、エントリーシート提出後の変更は基本的に認めない。ただし、病気その他不測の事態によりメンバーを変更する場合、引率教員は、開会行事開始前までに大会事務局に変更を申し出ること。メンバー変更の可否は協議により判断する。

## 7 表彰等（案）

- (1) 山形県大会終了後、別日程にて採点委員会を開催し、採点を行ったのちに各校に成績を通知する。
- (2) 成績点数は、筆記競技180点、及び実技競技（総合系）180点の合計360点とする。合計得点の高い順から、上位3チームを表彰する。ただし、合計得点と同点の場合は、実技競技（総合系）の点数が高いものを上位とする。  
また、筆記競技および実技競技（総合系）のそれぞれにおいて成績点数が最も高いチームを表彰する。
- (3) 総合得点において優勝したチームは、山形県代表チームとして令和6年3月に開催される全国大会への出場権を獲得する。

## 8 代表強化

科学の甲子園全国大会に出場する県代表チームの強化を目的として、4回程度の強化講習会を、山形大学、県立産業技術短期大学校の協力のもと開催する。日程や研修会場等の詳細については代表校と相談し、代表強化講習会要項を別途定めるものとする。

なお、強化講習会への生徒の参加については、保護者に参加の承諾を必ず得た上で、原則として教員1名以上が引率することとする。この際の生徒の旅費は参加者負担とする。なお、引率教員については、旅費を配当替えする。

## 9 その他

- (1) 山形県大会への生徒の参加については、保護者に参加の承諾を必ず得た上で、原則として教員1名以上が引率することとする。生徒の旅費は参加者負担とする。なお、競技役員等を委嘱した引率教員については、旅費を別途配当替えする。
- (2) 山形県大会へ参加申込みをしたチームの数によっては、大会前に追加募集をする場合がある。
- (3) 全国大会出場にかかる県代表チーム派遣費用等については、原則としてJSTが負担する。